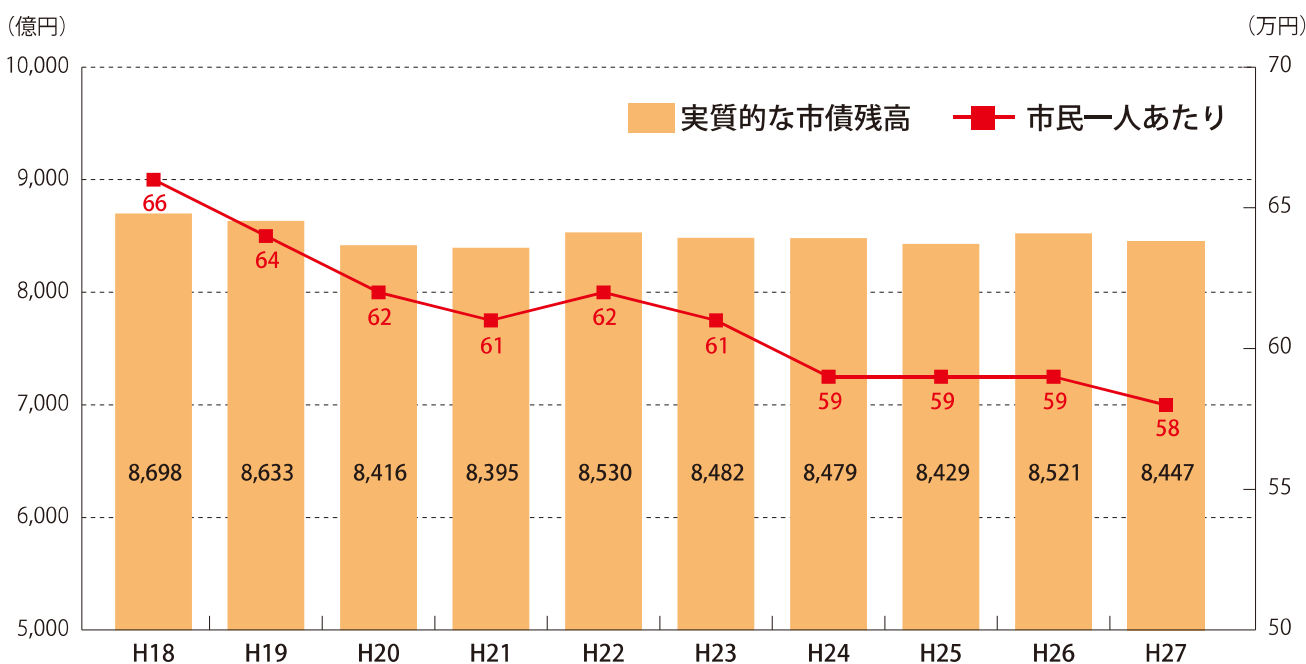


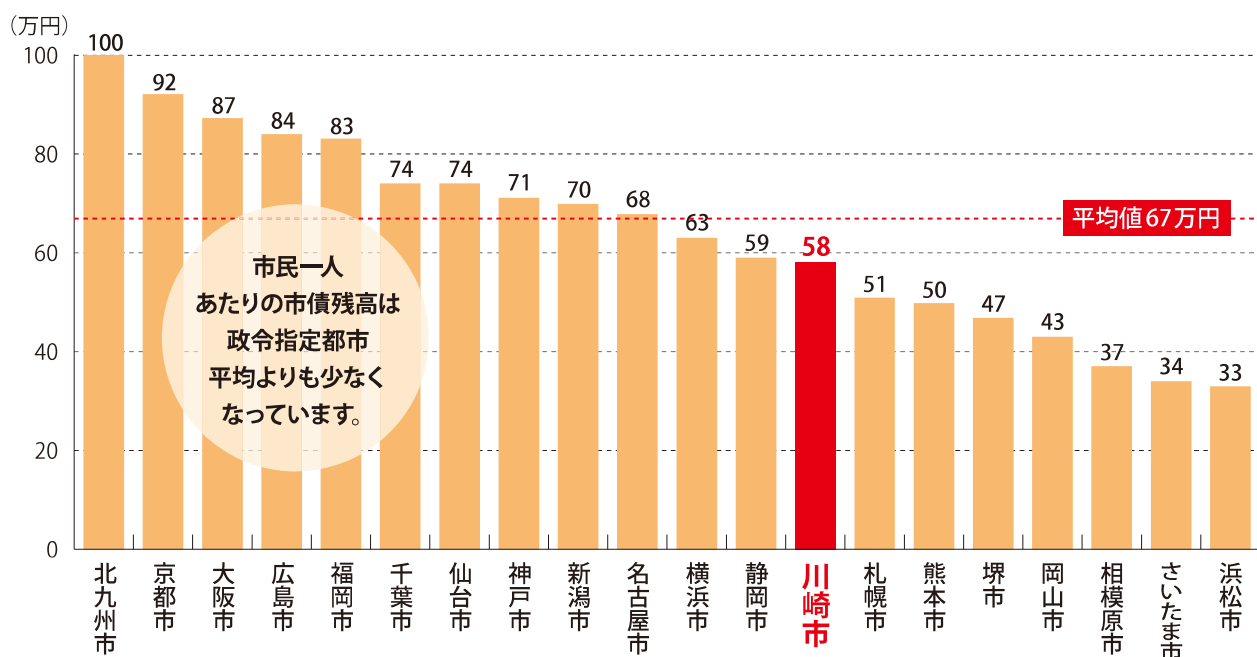
# 市の将来像を確認しながら 借入金のバランスを考えています。

## 市債の残高はどうなっているの？

### ● 実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移 (普通会計決算額)

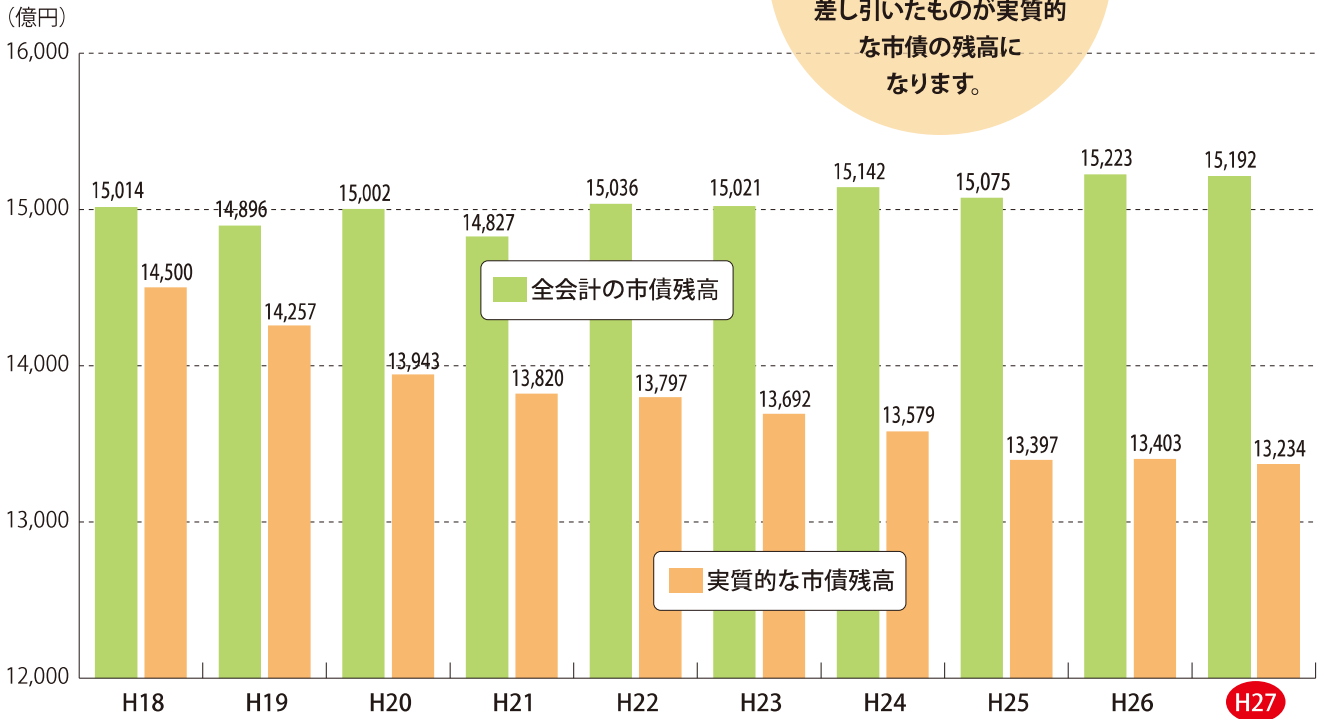


### ● 政令指定都市市民一人あたりの実質的な市債残高 (平成27年度 普通会計決算)



# 全会計の「実質的な」市債残高は？

## ●全会計の市債残高の推移



市債の償還  
(借金の返済)を計画的に行うために、積立てを行っています。そのため、積立分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。

実質的な市債残高は減少傾向にあります。次世代の市民に大きな負担にならないよう、将来への負担を明らかにして事業を行い、計画的に借入れをしていくことが大切です。

主に水道料金や下水道使用料などにより償還(返済)する市債

4,830億円

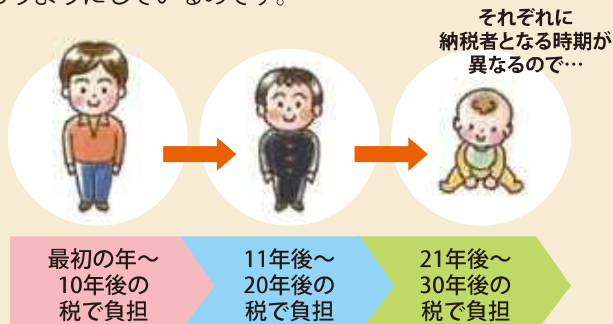
平成27年度  
全会計市債残高  
(決算)  
1兆5,192億円

主に市税などにより償還(返済)する市債  
10,362億円

### コラム

## 市はなぜ市債の発行(借金)をするのでしょうか

学校などの公共施設を建てるために、その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建築費用を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平がうまれます。そのため、市債を発行して将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているのです。



市債には、「現在」から「未来」それぞれの市民で負担を分かち合う効果があるんですね。

